

十二指腸腫瘍の内視鏡治療とマネジメント

小山 恒男, 矢作 直久 ● 編著

B5・頁292
定価: 12,100円(本体11,000円+税10%) 医学書院
ISBN978-4-260-04337-3

食道・胃のESDが一般化し、やや遅れて大腸ESDもほぼ一般化しており、現在は海外での展開が進みつつある。一方で、近年増加傾向にある十二指腸腫瘍の治療が発展しつつある。十二指腸は固有筋層が非常に薄いこと、Brunner腺が存在すること、スコープの操作性が不良であること、膵液や胆汁の存在によって後出血や穿孔のリスクが高く、また、緊急手術になると臍頭十二指腸切除など侵襲が大きくなる可能性も高く、その対応が大きな課題であった。しかし、近年の学会や研究会でのさまざまな報告や意見交換を

聞いていると、内視鏡医学の進歩が確実にこれらの課題を克服しつつあるなど感じていた。

今回、小山恒男先生、矢作直久先生の編著書として、本邦屈指のエキスパートたちにより『十二指腸腫瘍の内視鏡治療とマネジメント』が医学書院から発刊された。今回実際に拝見して大変感銘を受けた。本書では、総論で十二指腸、十二指腸腫瘍の特性と起こり得る偶発症から、術前の病変の評価、状況の評価、それに応じたスコープや使用デバイス、治療手技の選択などについて詳述されており、胆膵内視鏡医や外科医との連携・協力体制などチーム医療の重要性も強調されている。さらに、円滑な治療のための鎮静や麻酔

十二指腸腫瘍内視鏡治療のバイブル



【評者】田中 信治

JA尾道総合病院病院長/広島大名誉教授

に関する解説も加えられている。十二指腸の内視鏡治療は、偶発症によって致命的病態になる可能性があるため、これらを正しく理解することは極めて重要である。

本書は美しい内視鏡画像をふんだんに駆使し、従来のEMRに加えて、Cold polypectomy, Under water-EMR, ESD, Hybrid ESD, OTSCによる全層切除、さらにはD-LECSも加えて、その基本とコツが簡潔に詳述されており、トラクションをはじめとするさまざまな細かい工夫や各デバイスの特徴と使用方法も手の内を隠すことなくしっかりと記述されている。また、偶発症予防法対策や穿孔部の縫縮術などもしっかりと盛り込まれている。そして、本書の最大の特徴として、34例ものさまざまなケーススタディの項が設けられており、深い実践的なトレーニングができるように構成されている。

本書はこの領域に携わる医師にとってまさにバイブルといえる教科書であり、十二指腸腫瘍の内視鏡治療に携わる医師は必読の書である。本書によって十二指腸腫瘍の内視鏡治療が安全かつ効率的に行われていくことが期待される。最後に、このような素晴らしいトレーニング書を企画し発刊して下さった小山先生、矢作先生に敬意を表したい。

本書はこの領域に携わる医師にとってまさにバイブルといえる教科書であり、十二指腸腫瘍の内視鏡治療に携わる医師は必読の書である。本書によって十二指腸腫瘍の内視鏡治療が安全かつ効率的に行われていくことが期待される。最後に、このような素晴らしいトレーニング書を企画し発刊して下さった小山先生、矢作先生に敬意を表したい。

わかる!使える!

日本語の文法障害の臨床

失語症・特異的言語発達障害(SLI)をひもとく

藤田 郁代, 菅野 倫子 ● 編

B5・頁256
定価: 5,940円(本体5,400円+税10%) 医学書院
ISBN978-4-260-05274-0

文法という日常とは無関係のような印象を受けるが、人の思い(思考)は文の形をとって伝えられる。その文をどう作るか、理解するかが文法であると著者は言う。本書はコミュニケーションとしての文法を主題としている。チョムスキーが文を生み出す装置としての生成文法を提案し、そのpsychological reality(心理的実在)を求めた延長に脳内の文法をつかさどる神経ネットワークがある。本書はそのことをわかりやすく解説するだけでなく、その神経ネットワークの不具合

文法障害研究の羅針盤

【評者】藤原 加奈江

東北文化学園大学教授・言語聴覚学

によって生じた文法障害の病態、発現メカニズム、さらに訓練法までを論じる希少な一冊である。

「I 基礎となる理論編」では文法障害の前提となる文の構造についてわかりやすく解説しており、初めて文法障害を学ぶ読者にはむろんのこと、ベテランと言われる読者にも改めて知識を整理するのに役立つ。

文処理プロセスを知る数少ない方法の一つに、不具合の起こり方から推測する方法がある。不具合の一つが脳損傷により生じる失語症にみられる失文

【第4回】内分泌

中国には激素という用語がある。これは日本最大の漢和辞典である『大漢和辞典』(通称「諸橋大漢和」,大修館書店)にはみられないので比較的新しい言葉であり、hormoneの中国語訳である。

Hormoneは20世紀になって、セクレチンを抽出したStarling EHによって命名された。ギリシャ語のhormon(促進させるもの)がその語源である。「激」という字は「はげしい」意味に使われることが多いので激素とは怖い感じがするが、同辞典には「はげむ・はげます」の意味も解説されている。一般には「激励」との言葉もあることから、激素は「促進させる素」と理解できる。

さて、ホルモンが主役をなす「内分泌」という用語は日本でいつ登場するか。『新華外来詞詞典』によると1921年となっているが、Google Scholarによるともっと早く、1906年の「糖尿病ニ於ケル膵臓ノ病的變化ニ就テ」(日本消化機病学会雑誌)という論文が初出と思われる。中国では1919年の『診断学』という書籍が初出である(『新華外来詞詞典』)。

内分泌といえば、甲状腺が最もポピュラーである。『新華外来詞詞典』では、「甲状腺」は日本(やはり1872年の『医語類聚])で初出とされる。論文中には、1890年の順天堂医学が初出で(Google Scholar)、中国で初めて使用されたのは1903年である(『新華外来詞詞典』)。1774年の『解体新書』には甲様軟骨はあるが、「甲状」は使われていない。

甲状腺疾患の中で、まず取り上げるべきは「橋本病」であり、中国でも「橋本脳症」として現在の教科書にも使用されている。発見者である橋本策による最初の報告は1912年のArch f klin Chir誌であり、用語としての「橋本病(橋本甲状腺腫)」の論文初出は1959年の症例報告(耳鼻咽喉科臨床)にみられる。しかし、驚くことに世界ではこれより早く、1944年に「Struma Lymphomatosa (Lymphadenoid Goitre: Hashimoto's Disease): A Study of Four Cases」(Ind Med Gaz)という論文が出版されている。「Hashimoto encephalopathy」は1994年(Takahashiら)、「Hashimoto's encephalopathy」は1991年(Shawら)が最初であり、「橋本脳症」は2001年(大隅ら)に初出している(Google Scholar)。

福武 敏夫
鳥田メディカルセンター 脳神経内科部長

逆輸出された
漢字医学用語
漢字好きな神経内科医が、中国に逆輸出された漢字医学用語の語源を探ります。

●お願い—読者の皆様へ

弊紙へのお問い合わせ等は、お手数ですが直接下記担当者までご連絡ください。

記事内容に関する件

☎(03)3817-5694・5695/FAX(03)3815-7850 「週刊医学界新聞」編集室へ

送付先(住所・所属・宛名)変更および中止

FAX(03)3815-6330 医学書院出版総務課へ

書籍のお問い合わせ・ご注文

お問い合わせは☎(03)3817-5650/FAX(03)3815-7804 医学書院販売・PR部へ

ご注文につきましては、最寄りの医学書院特約店ほか医書取扱店にて承っております。

法であり、また、文法の習得障害の特徴とする特異的言語発達障害である。「II 文法・統語障害の理解編」ではこの二つの障害を取り上げている。特に失文法に関しては19世紀初頭から始まるさまざまな理論が丁寧に解説され、神経心理学と言語学の双方から文法障害の研究がどのようになされ現在に至るのか、その経緯がわかる。現在地点を知ることは、今後どこへ向かうべきかを知る上で欠くことができない。本書はその意味で文法障害研究の羅針盤となる。

さらに本書は現在取り組まれているさまざまな文法障害に関する研究を幅広く網羅している。脳損傷による失文法と発達障害の特異的言語発達障害を共に取り上げ比較することで、文処理プロセスの特徴がより明確になる。原

発性進行性失語と脳血管障害による失文法も同様である。また、認知言語学など新たなアプローチも紹介されており興味を尽さない。

「III 臨床の展開編」の根底を貫くのはEvidence based, 根拠に基づく臨床である。長年、わが国の失文法研究をけん引してこられた著者の実績に裏打ちされた評価法と訓練法は明解で有効である。失語症臨床の場にある言語聴覚士はぜひ熟読されたい。教材絵カードまでついており、著者の言語聴覚士に対する愛情が感じられる。

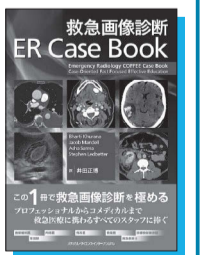
わが国に言語聴覚士の国家資格ができてもうすぐ四半世紀を迎えるが、残念ながら文法障害のように一つのテーマに絞った成書は極めて少ない。本書はその意味でもわが国の言語聴覚学史の記念すべき一冊である。

この1冊で救急画像診断を極める!

救急画像診断ER Case Book

Emergency Radiology COFFEE Case Book: Case-Oriented Fast Focused Effective Education

▶迅速かつ正確な画像解釈による病態把握が求められる救急画像診断のノウハウが蓄積された、ハーバード大学医学部ブリガム・アンド・ウィメンズ病院の教育コースのメソッドをもとに、同病院のスタッフにより執筆された決定版。ケーススタディ形式で症例画像(非外傷性疾患54症例・外傷性疾患31症例)を提示し、鑑別診断についても300を超える豊富な画像を添えて解説。全身を網羅した広範囲にわたる知識・スキルを効率的に向上させたい、放射線科、救急科の専門医やそれを目指す専攻医に最適。



訳: 井田正博 水戸医療センター放射線科 部長

定価9,900円(本体9,000円+税10%)
B5 頁700 色図23・写真1388 2023年
ISBN978-4-8157-3079-6

MEDSI メディカル・サイエンス・インターナショナル
113-0033 東京都文京区本郷1-28-36

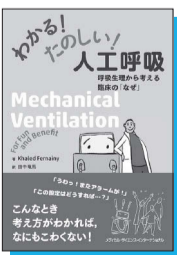
TEL.(03)5804-6051 https://www.medsci.co.jp
FAX.(03)5804-6055 Eメール info@medsci.co.jp

「うわっ! またアラームが!」「この設定はどうすれば...?」
こんなとき考え方がわかれば、なにもこわくない!

わかる! たのしい! 人工呼吸

呼吸生理から考える臨床の「なぜ」
Mechanical Ventilation: For Fun and Benefit

▶「呼吸の生理学・病態生理学」から紐解き「人工呼吸管理」をわかりやすく解説。呼吸の仕組みが論理的に理解でき「わかるたのしさ」を感じられる構成。難しい内容を平易な言葉で図を交え説明し、それぞれのパラグラフは通読しやすく簡潔に記載。人工呼吸管理に苦手意識を持つ医師や研修医、また呼吸療法認定士を目指す看護師・コメディカルなどに最適。



訳: 田中竜馬 Pulmonary & Critical Care Medicine Intermountain LDS Hospital Salt Lake City, Utah, USA

定価3,630円(本体3,300円+税10%)
A5 頁328 図171 2023年
ISBN978-4-8157-3066-6

MEDSI メディカル・サイエンス・インターナショナル
113-0033 東京都文京区本郷1-28-36

TEL.(03)5804-6051 https://www.medsci.co.jp
FAX.(03)5804-6055 Eメール info@medsci.co.jp